



contents

- 1～9…特集 コロナ禍のいまこそ、こころをひとつに。
- 10…放課後児童クラブ 11…がん検診、観阿弥祭
- 13…施設ご利用ガイド 14…ひまわり 15…11月の相談

今号から毎月1回発行（16ページ）に変わりました

発行/名張市秘書広報室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎ 0595-63-7402 FAX 0595-64-2560 ✉ pr@city.nabari.mie.jp



「感染防止を徹底して『名張学園祭』を成功させよう」と協力を呼びかけるポスター。実行委員会と市のコラボレーションで実現した。運営メンバーがモデルとなり、若者に人気の映画「東京リベンジャーズ」のポスターをパロディ化して注目度アップ!

動画はこちらから▶



ポスターに掲載したQRコードをスマホで読み取ると、動画で運営メンバーからのメッセージが流れる。



こまめに換気!



特集

コロナ禍のいまこそ、こころをひとつに。

名張学園祭
実行委員会 委員長

岡田七海さん

「名張学園祭」は、来場いただく際に、検温・手指消毒の上、リストバンドを付けてもらうなど、感染対策を徹底して開催します。ぜひ、皆さん、感染対策をしてお越しください!



みんなの力で「名張学園祭」を成功させよう!

「名張を盛り上げる力になりたい」。そう話すのは「名張学園祭」実行委員長で高校生の岡田七海さん。「名張学園祭」は、若者のパワーやアイデアをまろこしに生かしてもらおうと、名張地区まちづくりに協議会が主催する催しで、今年

新型コロナウイルスの感染拡大により、私たちの生活は大きく一変。変異株で感染が急拡大し、行動が制限されるなど、その影響は長期化しています。コロナ禍のいまこそ、こころをひとつに。人と人の「つながり」を大切に。一人ひとりの行動が、大切な人の命と暮らしを守ります。

で2回目を数えます。

「コロナ禍で夏祭りや国体などが中止になって、やるせない気持ちです。学生の発表の場も減っている中、『名張学園祭』を絶対に成功させたい」と岡田さん。高校生や大学生など、22人の運営メンバーとともに、3月から開催に向けた準備を進めています。ところが、感染力の強い変異株

の出現などにより、若者への感染が目立つようになっていきました。そこで、7月に、実行委員会と市が協力して若者向けの啓発ポスターを作成。市内の公共施設や量販店、コンビニなどで掲示することに。「感染防止を徹底して、みんなの力で名張学園祭を成功させよう」。そんなメッセージが、ポスターに込められています。

NABARI GAKUENSAI
第2回 名張学園祭

ダンス・バンド・新体操など
パワーあふれる若者の晴れ舞台!

入場無料
申込不要

日時 11月3日祝 ※駐車場はありません
午前10時～午後4時

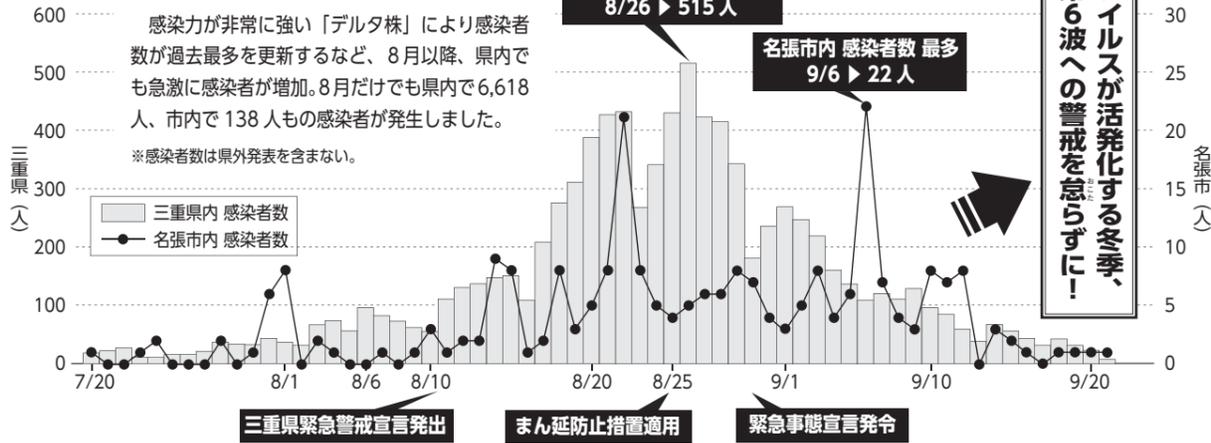
場所 朝日公園、名張市民センター

☎ 名張地区まちづくり協議会 ☎ 64-2605

データ 県内・市内の感染者数

7月20日～9月21日

最新情報は市HPで確認できます



データ 県内の医療提供体制

9月21日現在

自宅療養を余儀なくされる人もいますが、感染拡大が続くと、救急医療が受けられないようなケースが発生するなど、医療提供体制がひっ迫していくことが懸念されます。

最新情報は県HPで確認できます

県内医療機関に入院		宿泊療養	入院調整中・自宅療養
重症	軽症～中等症		
10人	179人	47人	384人

	確保病床	使用病床	使用率
病床全体	507床	189床	37.3%
うち重症者用病床	55床	10床	18.2%



※重症…人工呼吸器装着または集中治療室に入院
軽症～中等症…無症状や軽快した人を含む

確保宿泊療養施設 259室

※病床使用率が50%を超えるかどうかは、緊急事態宣言発令に向けた一つの指標

新型コロナウイルス感染症の治療法

軽症の場合は、経過観察のみで自然に軽快することが多く、必要な場合に解熱薬などの対症療法を行います。

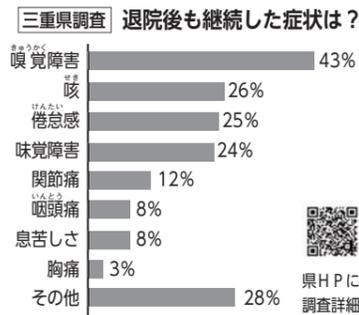
呼吸不全を伴う場合には、酸素投与や抗ウイルス薬、ステロイド薬(炎症を抑える薬)、免疫調整薬、中和抗体薬(シムデビルなど)の投与を行い、改善しない場合には人工呼吸器などによる集中治療を行うことがあります。

こうした治療法の確立もあり、新型コロナウイルス感染症で入院した人が死亡する割合は低くなっています。

厚生労働省HP「新型コロナウイルス感染症の“いま”に関する11の知識(2021年9月版)」より

退院後も症状が続く場合があります

感染時には重症化しなくても、退院後に後遺症が残る場合があります。三重県の調査によると、退院後も症状がある人は、およそ40%。最も多いのが嗅覚障害の43%、次いで咳の26%となっています。年代別では30～50代の人が多くなっています。



※複数回答可/令和3年2月取りまとめ

冬季・第6波の到来に備え、新型コロナワクチン接種枠を拡大し、接種の加速化を図っています

新型コロナウイルス ワクチン接種予約

市から接種券が届いた12歳以上の人が対象

インターネット予約 <https://www.city.nabari.lg.jp>

電話予約 英語・中国語・ポルトガル語 対応
名張市 集団接種予約センター (予約専用)
0120-708-567
午前9時～午後7時(土・日曜日、祝日は午後5時まで)

「キャンセル待ち登録」で早期接種を

集団接種にキャンセルが出たら連絡します(名簿登録順)。対象 12～59歳の人(予約済でも可)
登録方法 電話で新型コロナワクチン相談センター(☎63-7306)へ ※接種券が必要

効果と副反応のリスクの双方を理解いただき、自らの意思で接種を受けてください。接種を受けた、受けていないといった理由による差別や偏見は許されません。

参考
厚生労働省HP「新型コロナワクチンの有効性・安全性について」

ワクチン接種状況 65歳以上 [1回目:90.6%、2回目88.6%] 64歳以下 [1回目:56.2%、2回目:39.1%]
※9月21日現在(名張市のワクチン接種記録システム登録者数)。最新情報は市ホームページで随時公開



特集 コロナ禍のいまこそ、こころをひとつに。

コロナ感染の現状

大切な家族・知人の命を守るために、感染対策の徹底とワクチン接種の検討を

名張市立病院 感染症科 医長 今井 雄一郎



データ 新型コロナの変異株「デルタ株」の感染力



新型コロナウイルスの感染拡大は、第5波では過去最多となる感染者が発生。「災害レベル」の状況となりました。新型コロナウイルスが変異した「デルタ株」の増加が顕著に見受けられ、子どもの感染も増えています。「デルタ株」は、格段に感染力が強い

県内でも医療体制のひっ迫が懸念されています

のが特徴です。また、重症化しやすく死亡に至るリスクも、従来株の2.4～4.9倍高くなっていると報告されています。

県内では、感染拡大に伴い病床が不足しており、多くの人が自宅療養を余儀なくされています。この状況が続けば、自宅療養中に病状が悪化しても入院できなかったり、脳卒中や心筋梗塞をはじめとした救急医療やがん治療といった現在すでに制限を受けている通常の医療提供ができなくなってしまう可能性があります。

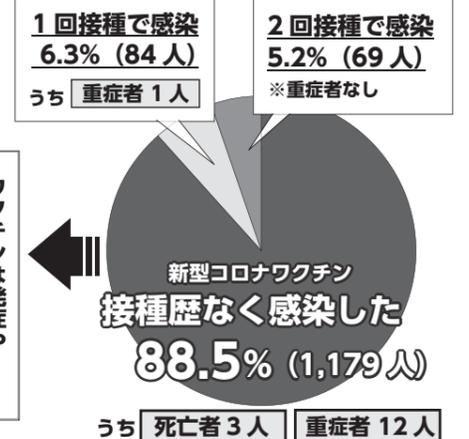
医療崩壊を招かず、大切な家族・知人の命を守るために感染対策の再徹底にご協力ください。

医療崩壊を招かないためにより厳格な対策が必要

感染力の強い「デルタ株」は、より厳格な対策が必要です。感染経路の中心は、咳や会話で発生した「しぶき」による飛沫感染で、接触感染もあります。換気の悪い密閉空間、多数が集まる密閉場所、間近で会話や発声する密接

データ 新型コロナ感染者のワクチン接種状況(県内) 三重県調査

対象：県内の新型コロナ感染者 1,332人 (8/1～8/16公表分)



場面といった「3密」の場面では、短い距離での空気感染の可能性も指摘されています。

「3密を避け、人と人との距離を十分に確保する」「距離が確保できないときや会話する時にはマスクを着用する」「手を洗う、消毒する」「家やオフィスの換気をこまめに、かつ、十分に行う」ことが重要です。また、ワクチンを接種して睡眠をしっかりと、毎日の健康管理を行う。これらを組み合わせて実践することで、自身だけでなく、家族を含めた他者への感染防止につながります。

重症化予防などの効果があるワクチン接種の検討を

「デルタ株」に対してもワクチンは有効です。従来株より

は、やや低下の懸念はあるものの、「感染予防の効果」「発症予防の効果」が得られています。特筆すべきは、「重症化予防の効果」は従来と同等に保たれていることです。基礎疾患のない若い世代での重症化や、重症化しなくとも後遺症に長期に渡り悩まされ続ける場合もあるため、事前のワクチン接種による免疫獲得は有効な感染対策のひとつであると考えます。

三重県が新型コロナウィルス感染者のワクチン接種歴を調査した結果、88.5%は接種歴がなかったことが明らかになりました。ワクチン接種を2回済ませた後に感染した人は全体の5.2%で、重症者はいなかったと報告されています。このように、ワクチンの効果は確認されていますので、接種について前向きに検討ください。



特集 コロナ禍のいまこそ、

コロナに

こころをひとつに。

負けない!

いつ収束するとも分からない新型コロナ感染拡大。国体をはじめ、多くの催しが中止となるなど、閉塞感が漂っています。そんな中、「前向きな気持ちを持ち続けることが大切」との強い思いで、今できることを少しずつ前進させている人たちがいます。



ウィズコロナを見越して完成したウッドデッキ。大切な人たちと思いっきり笑顔になれる場所に!

ロマンの森活用プロジェクト

地元の工務店、カフェ、デザイナー仲間で作成

(写真左から) 美山 莉香さん、山中 雅子さん、木瀬 千尋さん、湯野 俊和さん、遠藤 桂子さん、松岡 衣里さん



「全国から名張に人が訪れる絶好のチャンス。おいしいお店や、おしゃれなカフェ、地酒、特産品などを知ってもらい、ぜひ名張のリーダーになってほしい」と思った。そう話すのは、百合が丘に住むの斉藤勲哉さん。マップを作るために、4月ごろから、市内の飲食店や宿泊施設などを一軒一軒訪ね歩きました。「平日の来客はほとんどない」「宿泊客が激減した」。その中で聞こえてきたのは、新型コロナ感染拡大による経済活動への打撃でした。声をかけたのは、面識のない店舗・施設がほとんど。しかし、「ホッケー場が名張にできたことは知っていた。どんな形でも協力したい」「ぜひ一緒に盛り上げていきましょう」。そう言うって掲載を快諾してくれたそうです。

「国体中止は覚悟していたよ」と斉藤さん。しかし、「何ができるのかを考えて前を向き、賛同してくれたみんなのために明るく前を見据えていない」と。そう自分に言い聞かせました。そんな中、8月下旬に国体中止が決定。「私たちの思いに共感し、

「国体中止は覚悟していたよ」と斉藤さん。しかし、「何ができるのかを考えて前を向き、賛同してくれたみんなのために明るく前を見据えていない」と。そう自分に言い聞かせました。そんな中、8月下旬に国体中止が決定。「私たちの思いに共感し、

絶景の「ロマンの森」で、新たなチャレンジ

子育て世代に、緑あふれる名張でもっと楽しんでほしい。そんな思いで平成27年に始まった「森のはるかゼマルシェ」と「森のあきいろフェスタ」。雑貨や菓子などの販売、ライブステージなど、市内外から多くの家族連れが訪れました。会場となったのは、青蓮寺湖畔のキャンプ場跡「ロマンの森」。「思い

出の残るこの場所で、ふと見下ろした景色の美しさに惹かれました」。そう話すのは、ロマンの森活用プロジェクトの美山莉香さん。「夏には、ここで音楽祭をしよう」という企画もあつたんです。出演者にも声をかけて準備をしていたんですけれど、昨年

の春以降、コロナ禍で「ロマンの森」でのイベントは中止せざるを得なくなりました。そうした中、プロジェクトメンバーで話し合い、「コロナ禍はすぐに収束しないだろうから、少数で個別に楽しんでもらえる場所にしていければ」との思いで、湖が見渡せるウッドデッキとプランコを作ることにしました。

資金調達は、クラウドファンディングを活用。寄附額に応じて返礼品がもらえる仕組みで、青蓮寺湖周辺の店舗などが返礼品の提供に協力しました。プロジェクト代表の湯野俊和さんは、「PR動画を作ってくれた人や、チ



完成したばかりのウッドデッキで、観客を家族に限定して開催されたダンス発表会

ラ応援してくれるお店の人の顔が浮かんで、さすがにつらかった」と思い返します。今できることを行動に移すことが、次につながる

「小さな活動の輪が広がり、そこに住む人がつながり、まちが明るくなっていく。できることから行動する。そうでないと、次につながらない。子どもたちのアイデアも何とか形にしていきたい」。ホッケー場を見つめる斉藤さんの目は、明日を見据えていました。

シを置く場所を探してくれた人、現金を握りしめて、寄附を申し出てくれる年配の人もいました。温かいつながりに感謝でいっぱいです」と話します。おおよそ一カ月間で、100人から170万円の寄附が集まり、8月にウッドデッキとプランコは完成しました。

「コロナと共存しながら、みんなが笑顔になれる場所

完成したばかりのウッドデッキで、観客を家族に限定して開催されたダンス発表会

免疫力を上げよう コロナに負けない身体をつくろう! 「よくバリ青春体操」がオススメ!

免疫力アップには、十分な休養、バランスの取れた食事、そして適度な運動が大切! 椅子から立ち上がり、片脚立ちなど6つの動きで構成される「よくバリ青春体操」が効果的です。

実践例: 片脚立ち運動 左右1分間×2セット

自宅実践しよう! 動画 よくバリ青春体操 ~センター選抜オーディション編~ ~筋力運動実践編~

地域のみんなで取り組もう!

ひなち地域 支え合いセンター「なごみ」の皆さん

高齢者サロン「どんぐり」(比奈知)の皆さん

◎ 地域で体操を取り入れたい、どんな体操が知りたいなど ▶ 健康・子育て支援室 (☎63-6970) へ

あなたなら、きっとできる! 感染対策 家庭内に持ち込まない、広げない!

県内の感染者の、実に7割が家庭内感染です(9/11~15・経路不明を除く)。「家で過ごす時間長い、コロナのことは忘れない」と、家庭では対策が疎かになりがちですが、家庭内にウイルスを持ち込まない、家庭内で広げない! きっとあなたもできるはず!

ウイルスを家庭に持ち込まないために...
こまめな手洗い・消毒を習慣にしませんか?

家庭で感染を広げないために...
食事・就寝の分離で家族の安全を守りませんか?

会食で感染を広げないために...
食事とおしゃべりを分けて会食を楽しみませんか?

手指の消毒

体調管理

□ お店や職場で消毒液ボトルがあっても、通り過ぎていませんか?
□ 同僚や友達とオフィス用品やスポーツ用品などを消毒・洗浄せずに共用していませんか?
□ 帰宅時などに手洗いを忘れていませんか?

□ 体調の悪い家族と同じタイミングと一緒に食事していませんか?
□ 体調の悪い家族と、同じ寝室で寝ていませんか?
□ 体調の悪い家族がいるのに、マスクなしで生活していませんか?

□ 大皿での料理の共用や自分の箸・トングなどでの取り分けをしていませんか?
□ 食事の際に大声で談笑していませんか?
□ 換気が悪く、座席間の距離が不十分な飲食店を利用していませんか?

特集 コロナ禍のいまこそ、こころをひとつに。

WE LOVE **なばり**

コロナで孤立

応援メッセージ

させない!

感染拡大に伴い、地域の活動は大きく縮小。困難を抱える人が社会から孤立してしまうといった問題も…。そんな中、悩みの相談に応じたり、困りごとの解決を支援したりしている皆さんにメッセージをいただきました。



名張市民生委員・児童委員協議会連合会会長
藤村 純子さん

孤立しがちな人を、地域全体で支えていきましょう

コロナ禍の中、特に、ひとり暮らしだと「何かあってもすぐに対応してもらえない」と、不安が大きくなってしまふことが多い。すると、外出が減って孤立し、心身ともに弱ってきつて悪循環に陥ります。民生委員・児童委員は、そんな見守り対象のお宅を訪問して声をかけるなど孤立を防ぐ取組を継続しています。いま、人が集まって活動できない中、地域の

さまざまな人が、いろんな場面で支援を必要とする人を見守ることが大切。例えば、市内の多くの地域で移動や家事などの生活支援の取組が、すごく頼りにされています。感染対策を徹底し、状況に応じて「できること・できないこと」を見極めながらこうした事業を続けていきたいものです。地域のみみなで力を合わせ、共にこの難局を乗り越えていきましょう。

民生委員・児童委員 地域に寄り添い、見守る・支える・つなぐ活動をしています 医療福祉総務室 ☎63-7579

「まちの保健室」で、心の荷物を下ろしてほしい

「コロナ禍で気軽に外出できなくなって、親も子どもたちもストレスがたまっている」と、最近では、親も疲れた様子…。私も子どもがいるので、共感しながら話を伺っているうちに、「なんだか楽になった」とスッキリして帰って行かれる人も多いです。事態がすぐには収束しない中、前向きな気持ちを持続していくことが重要。人と話をする事で心が楽になる

ことがあります。見守りが必要な人もそうでない人も、普段から地域でのつながりを大切にしてください。近隣で頼る人がいない人も、まずはあなたの地域の「まちの保健室」にお気軽にご相談ください。看護師や介護福祉士など専門職がお話を伺います。悩みが膨らむ前に、少しでも心の荷物を下ろしてリフレッシュしていただければと思います。

まちの保健室 市内15地域に設置。受付：平日 午前9時～午後5時 地域包括支援センター ☎63-7833



御之台・希実台地区 まちの保健室
三永 弘子



みんなの居場所「こどもの隣」プロジェクト 代表
水口 薫さん

「こども食堂」で、ちょっとだけ「楽」に

「しんどさ」を抱えたひとり親などは、仕事が忙しかったりして、なかなか自分から地域の活動に参加できないでいるかも…。コロナ禍で感染も心配でしょうし。子ども同士で誘い合って「こども食堂」に来てくれることもあります。何かきっかけが必要だと思うんです。「こども食堂」には、地域の皆さんや学生さん、ボランティアさんなど、さまざまな人が関わっていて

「子どもを地域のみみなで育てる」つながりを生んでいきます。こうした取組が多く地域に広がれば、関わる人の数だけ、「しんどさ」を抱えた親子が地域とつながるきっかけも増えていくんじゃないかな。「ちょっとしんどい」をちょっとだけ「楽」に。笑顔が絶えない「こども食堂」に、ぜひ気軽に顔を出してみてください。



なばりこども食堂 毎月第3日曜日 午前11時～午後2時 / やなせ宿(新町) / 18歳以下無料・大人300円 定員30人程度(子どものみでも可)。予約不要(感染状況で中止の場合あり)。市内のこども食堂については子ども家庭室(☎63-7594)へ

コロナ禍で、生活が苦しくなっていませんか

コロナ禍でみえてきた「生理的貧困」問題。経済的な理由で生理用品が買えない、また、複雑な家庭環境のため生理用品を買ってもらえない子どもたちもいます。そんな中、市内の団体・事業所から生理用品購入のための寄附をいただき、7月に小中学校へ生理用品を配布したほか、まちの保健室や市役所などで無料配布しています。昨年度、コロナの影響で収入が減少した人への貸付金

額は1億円超と、平時(就学貸付など)の10倍以上。それほど、生活に困っている人が多いということです。そこで、生理用品を配布する際には「なばり暮らしあんしんセンター」のリーフレットを同封。生活困窮の支援につなげています。同センターでは、相談者が安心して自分らしく暮らせるよう、就労支援や生活資金の貸付などを行っていますので、お気軽にご相談ください。

なばり暮らしあんしんセンター ☎0800-200-7831 (通話無料/平日:午前10時～午後4時)



市社会福祉協議会 会長
奥村 和子さん



市の設置手話通訳者
善田 真美

コロナ対策が障害者の新たなバリアになっている

マスクで口の動きが読み取れず不安という聴覚障害者、レジに並ぶとき、人との間隔をとるための印が見えずに割り込みをしていないか心配だという視覚障害者、マスクをつける理由が分からず外してしまうため外出を控えるようになったという知的障害者。このように、感染対策が日常生活上の新たなバリアになっている場合があり、障害者にとって、周囲の理解が

外出の負担を軽くすることにつながります。外見からは障害が分かりにくい場合もあり、ヘルプカードやヘルプマーク(右記)を身に着けています。困っている様子があれば、優しくお声掛けをお願いします。障害者の皆さんも、コロナ禍で不便なことも増えていると思いますが、困っていることなどがあれば、ご相談ください。



障害者福祉相談 平日 午前8時30分～午後5時15分 市役所1階 障害福祉室(☎63-7591 内☎63-4629)

コロナ関連情報を多言語化。外国人住民にご紹介を

外国人住民の皆さんに向けて、感染防止やワクチン接種をはじめ、感染拡大の影響に伴う解雇や帰国困難に関することなど、さまざまな情報をホームページやSNSで、できる限り多言語化して案内しています。コロナ禍で、普段以上に困っている外国人住民も多いと思います。地域や事業所などで困っている外国人がいたら、ぜひNabiChanをご紹介します。

For International Residents

困ったときはNabiChanに相談してください。私たちができることを、考えます。NabiChanや市役所には翻訳ができる機械もあるので、気軽に助けを求めてください。また、ホームページやSNSを見てください。

多文化共生センター(NabiChan) 午前9時～午後5時(月曜日休館) ☎64-6711

e-mail: tabunka@emachi-nabari.jp



多文化共生センター NabiChan
松崎 瑠美 Rumi 手塚 倫生 Michie



だれひとり取り残さない「伴走型の支援」を目指して

ひとり暮らしの高齢者や学生、失業した人、ひとり親家庭など、コロナ禍で外出や行動が制限される中、地域で孤立しがちな人が増えていると考えられます。問題なのは、人的な接触を避けることが求められ、周りに支援を求める行動がとれなかったり、周囲が気付きにくくなっていたりする点です。そんな中、民生委員・児童委員が見守り世帯を訪問し、心配な場合、まちの保健室や専門機関につなぐなど、これまで培われてきたつながりが生かされています。

市では、昨年度以降、専門職や地域ボランティアを対象に「リンクワーカー」の養成を始めています。望まない孤独・孤立に陥っている人を早期に見つけ出し、また、孤立しがちな人に寄り添いながら、信頼関係を構築し、その人のもつ力を引き出していき。そんな「伴走型の支援」を行う人材です。「リンクワーカー」を含め、地域のネットワークを充実させながら、だれひとり取り残さない仕組みを皆さんとともに築いていきたいと考えています。

地域包括支援センター **白岩 美菜** (社会福祉士)

コロナを正しく恐れつつ、「地域福祉」の歩みを止めないで

地域で、だれもが安心して暮らしていくことを目指す「地域福祉」の原点は、人と人が顔を合わせてつながり、支え合うこと。コロナ禍でその「つながり」が否定されることは、想定外の出来事でした。こうした中、名張市では2つの強みを発揮できているのではないかと感じています。一つは、孤立したり、ストレスを抱えたりした人が身近に相談できる場所があること。そしてもう一つは、専門職と地域の人々がともに地域づくりを行ってきた素地があるということ。つながり

の中で、地域の人の力が生かされています。一方で、普段から地域とつながりがなかった人や、困っていると声を出せないでいる人は、コロナ禍の中、ますます孤立してしまっているはず。皆さんの地域の行事や活動について、感染防止対策をしながら、何か工夫できないか、状況に応じて取り組みないかを繰り返し問い直してみてください。新型コロナウイルスを正しく恐れながら、「地域福祉」の歩みを止めない。当面はそういった状況が続いていくのだと思います。

同志社大学 社会学部 教授 / 名張市地域福祉策定委員会 会長 **永田 祐** さん





坪田 正博さん 古屋 実穂さん 高松 流唯さん
蔵持小5年生(稲刈り体験)



藤村 純子さん
民生委員・児童委員



奥村 和子さん
市社会福祉協議会 会長



上田 育美
保健師



中谷 宏樹さん
ホッケー三重クラブ
(国体選抜メンバー)



斉藤 藤哉さん
MPJホッケーおもてなしマップ
制作プロジェクトリーダー



川口 佳秀さん
名張商工会議所 会頭



辻岡 かおり
移住コンシェルジュ



水口 薫さん
なばりこども食堂



善田 真美
市の設置手話通訳者



手塚 倫生 松崎 瑠美
多文化共生センター

かんぱろう!つなごろう!
WE LOVE なばり
コロナ禍のいまこそ、
こころをひとつに。

感染防止に向けて我慢の日々が続きますが、いまこそ、こころをひとつに。互いを思いやりながら、一人ひとりができることに、あせらず、そして、しっかりと取り組んでいきましょう。



皆さんからのメッセージをぜひ、動画でもご覧ください



裏南 菊代
市立病院 看護部長



藤井 英太郎
市立病院 院長



今西 優貴
名張消防署 救急隊員



内田 康永 川岡 加寿子
人権センター



奥 健美さん
桔梗が丘東小 放課後児童クラブ



三永 弘子
まちの保健室



亀井 利克
名張市長



岡田 七海さん
名張学園祭 実行委員長



西山 嘉一
名張市 教育長



谷口 雅彦
錦生赤目小 校長



木瀬 千尋さん 遠藤 果歩さん 美山 莉香さん
ロマンの森活用プロジェクト

コロナの世界の片隅で
「助けて」
一方、追い込まれても、自ら「助けて」と言えない、言い出せないでいる人もいます。コロナ禍で、人と人が接する機会が減り、その傾向はますます強まっています。マスクで人の顔が見えず、不安になってしまっている人もいます。
「困」
った人を見放す社会は、自分も見放される社会。認知症や介護、貧困、障害、差別などの課題に、一人ひとりが共感し、「自分ごと」と思うようになれば、「助けて」「しんどい」と声を出しやすくなっていくはず。今、ウイルスという見えない敵の前に、誰もが危険な状況下に置かれています。それだけに、人の不安や困りごとを「自分ごと」として共有しやすい状況なのかもしれません。
こころをひとつに——人と人がつながりながら、だが、どのような役割を地域で担えるのか。コロナ禍のいま、そして、危機が去った後も、一人ひとりが考え続けていかなければなりません。

子どもたちも、こころをひとつに! アンシンダーの新必殺技を覚えよう!



子どもたちも、こころをひとつに! アンシンダーの新必殺技を覚えよう!

- フレッシュ・エア
部屋に新鮮な空気を取り入れる技! 窓やドアをこまめに開けることが大切!
- ハンド・ウォッシュ
コロナ対策の最も基本となる手を洗う技だ! 「こまめに丁寧」が決め手!
- 3密クラッシュ
コロナウイルスが「密閉・密集・密接」を好むことをつきとめたアンシンダーの最終奥義! すごくカッコイイ技なので、ぜひ、動画でチェックしてほしい!

動画でチェック! 119団アンシンダー ~コロナ禍で生まれた新必殺技 そして絆編~